

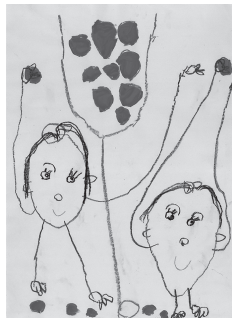
「みんながいっぱい応援してくれたからひなちゃん玉がはいったよ。」

森原 陽菜（もりはら ひな） 3歳

西浦幼稚園

（山口教区）

●表紙のことば●



初めての運動会での楽しかった経験を思い出しながら描いています。玉入れて、たくさんの玉を入れたこと、自分が紅組で、みんなが応援してくれたこと、その時の嬉しかった気持ちがこの表現につながったのでしょう。それにしても、この絵はひなちゃん独特のものです。一般的には、3歳児では、画面に空間的な構成をすることはほとんど見られません。カゴ、玉、自分やお友だちといった、お話の要素を画面に並べるように描くことが多いでしょう。

ひなちゃんは、画面の中央に高いカゴを描きそのカゴに向かって腕を長く伸ばして描いています。手にはしっかりと赤い玉を持っています。こうした高さの違いのような空間や距離の感覚は5歳前後からみられるようになります。一方、人物は顔の形から手足が出ている頭足人で、3歳から4歳頃にはよく見られる表現です。手足に指が、顔に鼻や耳が描かれるなど、いろんなことがわかり始めたこの時期のひなちゃんならでは表現でしょう。

おおはし いさお  
大橋 功

岡山大学大学院  
教育学研究科